

今後の管理のポイント

- 水深3cm程度の浅水で管理し、有効茎数確保まで分けつの発生を促しましょう。
- 雑草の発生が多い場合は、中・後期剤による除草を行いましょう。
- 補植用残苗は早急に処分しましょう。

1 気象の概況

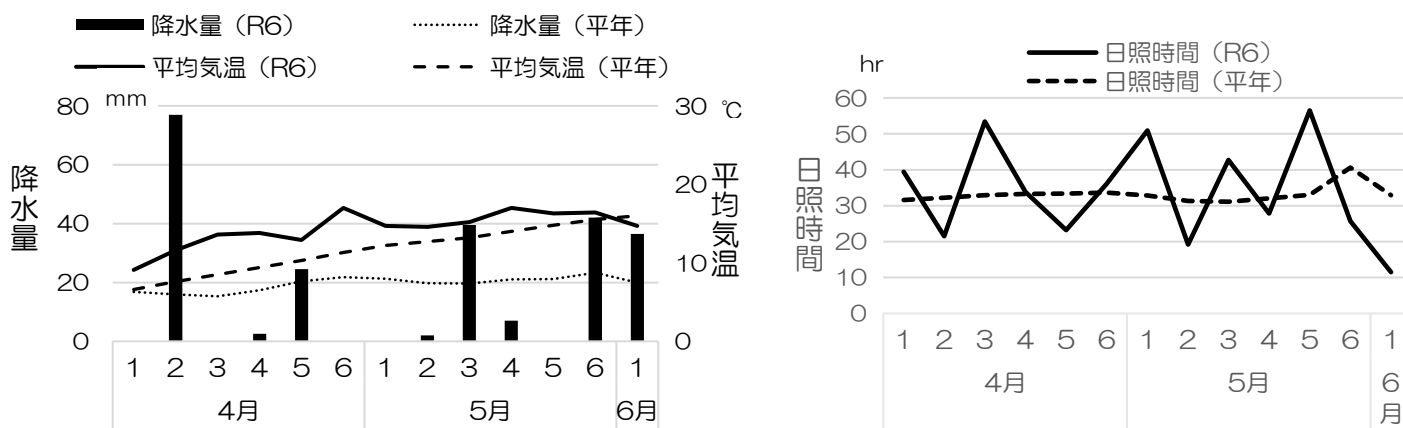


図1 気象経過図（気仙沼アメダス、半旬ごと）

2 管内の播種・田植えの状況

(1) 播種状況

播種盛期は前年より2日遅く、平年並の4月14日となりました。期間中気温が高い日があり、一部で高温障害がみられました。また、苗立枯病も散見されました。

(2) 田植え状況

田植盛期は前年より1日遅く、平年より2日遅い5月18日となりました。ごく一部で用水不足による田植えの遅れが見られました。

表1 管内の播種・田植えの状況

気仙沼 管内全体	播種状況			田植え状況		
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
R6	4/7	4/14	4/22	5/9	5/18	5/25
前年差	3日遅い	2日遅い	平年並	平年並	1日遅い	2日早い
平年差	3日遅い	平年並	平年並	1日早い	2日遅い	平年並

※「始期」は作付見込面積の5%、「盛期」は50%、「終期」は95%が進行した時期
 ※「平年差」は前5カ年の平均値との差

3 水稻生育調査ほの生育概況

- 田植え後の5月末から6月1半旬は最高気温が20℃に達しない日もありましたが、茎数は、概ね目標とする生育量を確保しています。

表2 生育調査結果（6月10日調査）

品 種 地区名	年	田植日	栽植密度 (株/m ²)	植付本数 (本/株)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色値 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市本吉町	R6	5/20	18.6	4.6	23.8	174.8	37.7
【参考】 ひとめぼれ 気仙沼市本吉町	R5	5/14	20.3	5.6	22.7	268.0	36.1

※生育調査ほの見直しにより、今年度から管内の調査ほは1か所となり、また、ほ場（担当農家）を変更しています。このため、前年比・差及び平年比・差はありません。

4 今後の栽培管理

（1）水管理

- 田面が露出しているほ場が散見されます。活着後は水深3cm程度の浅水で管理し、分けつの発生を促しましょう。
- 低温（平均気温が概ね14℃以下）や強風が予想される場合には、5～6cm程度の深水としましょう。
- 生わらや牛ふん堆肥等の有機物を多用している水田では、気温の上昇とともに有機物の分解が盛んになり、還元状態となるため、稲に有害な硫化水素等のガスが発生しやすくなります。中干しや一時的な落水などで土壤中に酸素を供給し、根腐れを防ぎましょう。

（2）雑草防除

- 初中期一発剤を散布したほ場でも、水持ちが不十分だったり、埋土種子や多年生雑草の塊茎などが多いと雑草が発生してきます。生長が進むと除草剤の効果が得られなくなるため、雑草の種類や葉齢を確認し、中・後期剤等を適期に施用しましょう。
- ヒエやイヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前にカメムシ類を水田に呼び寄せます。雑草対策を徹底し、斑点米による落等を防ぎましょう。

（3）病虫害防除

① いもち病

- 宮城県病虫害防除所が6月10日に発行した発生予察情報第3号によると、葉いもちの発生量は「平年並」と予報されています。
- 補植用の残苗は、本田でのいもち病の発生源となります。6月に入っても残苗のあるほ場が散見されますので、裏返すなど早急に処分しましょう。
- 箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、水面施用剤（粒剤、パック剤）を初発の6月中旬頃までに散布しましょう。
- 箱施用剤等による予防防除を実施した場合でも、発病が見られたときは、速やかに茎葉散布剤で防除してください。

- ・葉いもちは、直接収量や品質に影響を及ぼす穂いもちの伝染源となります。予防防除が基本であり、発病が進展してからの防除では十分な効果が期待できないため、水田をこまめに見回り、早期発見と早期防除に努めましょう。

※発生予報については、宮城県病害虫防除所が公表している「葉いもち感染好適条件の出現状況（BLASTAM（ブラスタム）」）も参考にしてください。

(URL:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>)



宮城県病害虫
防除所
BLASTAM

【BLASTAMとは】

アメダスデータを基に葉いもち感染好適日を推定するシステムモデルです。いもち病の胞子が発芽、感染するためには次の条件が必要です。

- 1 葉面湿潤時間が 10 時間以上
- 2 葉面湿潤時間中の平均気温が 15℃～25℃
- 3 前 5 日間の平均気温が 20℃～25℃

これら 3 つの条件が全て満たされると、いもち病の感染に好適な条件となります。感染好適条件が連続し県内広域で出現した場合、約 2 週間後に葉いもちの発病の増加が始まります。水田を見回り、発生に注意してください。

② イネドロオイムシ

- ・箱施用剤（殺虫剤）を使用しなかった場合は、以下の要防除密度を目安に、ふ化盛期（平年で 6 月第 3 半旬）に防除しましょう。

【要防除密度】

侵入盛期（平年で 6 月第 1 半旬）の成虫密度：100 株当たり 25 頭、又は産卵盛期（平年で 6 月第 2 半旬）の卵塊密度：100 株当たり 80 個（減収率 0%）

5 「金のいぶき」の栽培管理

(1) 調査ほどの生育状況

- ・移植が 6 月 1 日で、前年より 12 日遅いため、分けつの発生が始まったばかりです。葉緑素計（グリーンメーター）による葉色は、まだ葉の幅が狭く測定不能でした。

表 3 生育調査結果（6 月 10 日調査）

品 種 地区名	年	田植日	栽植密度 (株/m ²)	植付本数 (本/株)	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉色値 (GM)
金のいぶき 気仙沼市本吉町	R6	6/1	19.1	4.1	19.6	82.1	—
	前年比・差	+12	97%	84%	77%	60%	—
	平年比・差	+18	98%	95%	76%	35%	—

※令和 3 年から設置のため、平年値は令和 3～5 年度の 3 か年平均の値。

(2) 今後の栽培管理（基本的な栽培管理は、前述「4 今後の栽培管理」参照）

- ・「金のいぶき」は、莖数を確保しにくい品種です。今年は、移植日（田植え）が遅い傾向が見られましたので、適正な水管理（浅水管理）により分けつを確保しましょう。
- ・「金のいぶき」は、いもち病に弱い品種です。箱施用剤に加え水面施用剤による防除を 2 回（6 月中下旬と 7 月中下旬）実施しましょう。

6 乾田直播栽培

(1) 調査ほでの生育状況

- ・ 苗立率は、春先の天候に恵まれ、前年より高い57.2%となりました。
- ・ 調査ほ場は水持ちが良くないため、茎数の増加が鈍化しています。

表4 生育調査結果（6月10日調査）

品 種 地区名	年	播種日	苗立率 (%)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市本吉町	R6 前年比・差	3/25 +10	57.2% +20.8	20.1 106%	100.5 141%	29.3 -

※調査ほ場は、前年から場所を変更しています。

(2) 今後の栽培管理（基本的な栽培管理は、前述「4 今後の栽培管理」参照）

- ・ 雑草の発生状況を確認し、雑草が小さいうちに除草剤を散布しましょう。
- ・ 除草剤の選定に当たっては、雑草の種類や葉齢、使用時期を確認し、適正に使用しましょう。
- ・ 分けつを促進するため、水深を2～3cmの浅水管理としましょう。

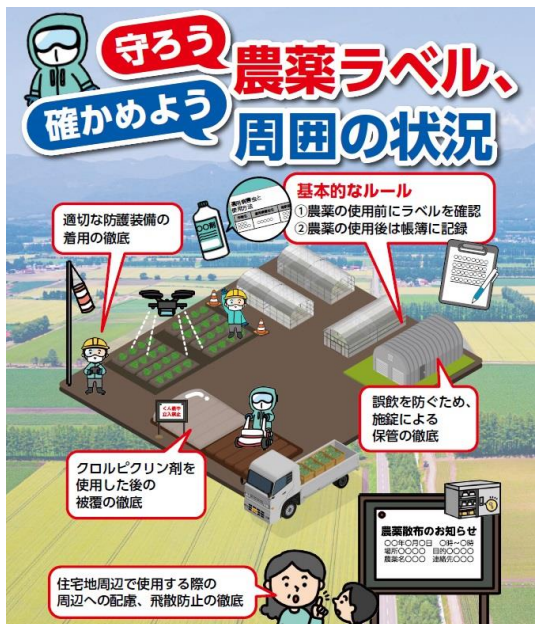
7 東北地方の1か月予報（令和6年6月6日 仙台管区气象台発表）

【予報のポイント】

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。

「宮城県農薬危害防止運動」実施中！

6/1～8/31



令和6年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催
宮城県・JAグループ宮城・宮城県農薬商業協同組合・
一般社団法人宮城県植物防疫協会・宮城県毒劇物協会
6月1日～8月31日

「農作業安全確認運動」展開中！

春期：3/1～6/30



（次回の稲作情報第4号は、6月21日頃の発行を予定しています。）